

- ☆2018春季生活闘争
- ☆2018春季生活闘争
- ☆2018新春のつどい
- ☆2018新春のつどいフォトギャラリー
- ☆近藤嘉会長特集
- ☆ネットワークSAITAMA21「ワンコイン運動展開中」
- ☆もうすぐ選挙/2月の行動日程/全労済お知らせ
- ☆あけぼのビル

2018春季生活闘争

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう!
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ!

連合埼玉の取り組みの考え方

「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みの継続と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めるため、連合「2018春季生活闘争方針」に沿った下記の内容について、街宣行動等をつうじた世論喚起(社会運動)および中小地場組合を支援する活動を推進する。これにより県内の未組織労働者や非正規労働者を含むすべての労働者への波及をはかる。

・「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みの継続に向けて

月例賃金の引き上げにこだわり、賃金引き上げの流れを継続・定着させるとともに、とりわけ、非正規労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実効性を高めるためにも、企業内最低賃金協定の締結拡大や水準の引き上げ、適用労働者の拡大に取り組み、法定最低賃金の改善に波及させ、「誰もが時給1,000円」の実現をはかる。

・「大手追従・準拠などの構造を転換する運動」の継続的な取り組みに向けて

中小組合の賃金引き上げに向けては、賃金改定原資の各賃金項目への配分等に労働組合がこれまで以上に積極的に関わっていく。

取引の適正化と健全で安全で働きがいのある職場の実現が同時に推し進められるよう、職場労使、経営者団体とともに社会全体に訴えていく。

・「すべての労働者の立場にたった働き方」実現への取り組みに向けて

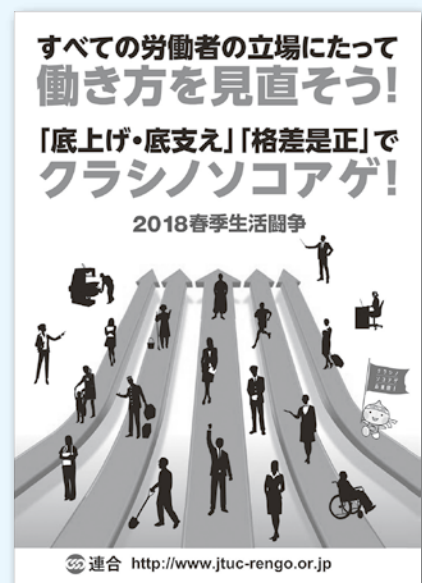
長時間労働の是正をはじめとする働き方を見つめ直し、正規労働者・非正規労働者を問わず個々人の状況やニーズにあった多様な働き方を選択できる仕組みを整え、それにより個々人の能力を高め、その「労働の質的向上」に応じた適切な処遇を確保する。

・「賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争の重要性」に向けて

生産性三原則(雇用の維持・拡大、労使の協力と協議、成果の公正分配)にもとづいた生産性向上の重要性について、社会的合意形成をはかる。

・運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」に向けて

政策制度実現の取り組みを春季生活闘争における労働諸条件改善の取り組みとともに運動の両輪として推し進める。具体的には、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた雇用労働政策課題について、地方からも街宣活動などをつうじた世論喚起をおこなう。



連合埼玉の取り組み

1. 先行組合の要求状況や交渉経過を、街宣行動や経営団体への要請をつうじて伝えることで、未組織労働者や中小地場組合も含めたすべての働く仲間に、「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を広く波及できるよう取り組む。また、各地域においては地域協議会と連携した展開をはかる。
2. 中小地場組合の交渉支援として、県内の経済情勢の解説、要求根拠や要求水準の考え方、交渉戦略などをテーマに春季生活闘争パワーアップセミナーを開催する。
3. 埼玉県ミニマム賃金や企業内最低賃金の位置づけなどを幅広くPRすることで、県内の賃金相場の形成および底上げと格差是正の必要性を訴える運動につなげていく。
4. 春闘方針や交渉状況などの情報を加盟組合と共有し、共闘の強化をはかる。



具体的な活動予定

1) 春季生活闘争パワーアップセミナーの開催

日時:1月28日(日)・2月4日(日)
 場所:あけぼのビル3F(28日)、ときわ会館(4日)
 内容:連合春闘方針、連合白書
 県内の経済情勢について
 春闘の進め方
 要求根拠・要求水準の考え方など

2) 世論喚起街宣行動

- ①1次行動 春闘開始宣言
 日時:2月6日(火)18:00~
 場所:大宮駅(東口)
 参加者:連合埼玉執行部、構成組織(150名)
- ②2次行動 ミニマム賃金/交渉状況アピール
 日時:3月6日(火)18:00~
 場所:大宮駅(東口)
 参加者:労働政策委員会、女性委員会、構成組織(150名)
- ③4次行動 中小・地場組合解決促進アピール
 - ③-1 全体
 日時・場所:4月10日(火)大宮駅(東口)
 参加者:連合埼玉執行部
 - ③-2 地域ブロック
 日時・場所:4月11日(水)川越駅(東口)
 4月13日(金)南越谷駅(南口)
 4月16日(月)熊谷駅(北口)
 4月18日(水)川口駅(東口)
 各18:00~
 参加者:各ブロック担当副会長・執行委員
 各ブロック地域協議会
 連合埼玉事務局
- ④「クラシノソアゲ応援団! RENGOキャンペーン」街頭宣伝
 日時:2月7日(水)~23日(金)
 3月7日(水)~23日(金)
 場所:県内各地

3) 世論喚起駅頭行動(各地域協議会)

- ①1次行動 一斉労働相談アピールおよび春闘開始アピール
 日時:2月7日(水)~23日(金)
 場所:県内各駅頭
 参加者:各地域協議会
- ②2次行動 ミニマム賃金アピール
 日時:3月7日(水)~23日(金)
 場所:県内各駅頭
 参加者:各地域協議会

4) 「底上げ・底支え」「格差是正」およびミニマム賃金に関する要請行動

- ①経営団体への要請行動(連合埼玉)
 日時:3月19日(月)~30日(金)
 要請先:埼玉県経営者協会、埼玉県商工会連合会、埼玉県商工会議所連合会、埼玉県中小企業団体中央会、など
 参加者:労働政策委員長、連合埼玉事務局
- ②商工会議所および商工会への要請行動(地域協議会)
 日時:3月19日(月)~3月30日(金)
 要請先:各地域商工会議所、商工会など
 参加者:地域協議会三役など

5) 春闘情報の共有化による共闘強化

- ①春闘方針・HPを利用した情報提供
 提供先:構成組織、地域協議会
 (一般に公開できる情報は広く開示する)

全ての働く人の底上げ実現をめざし真の働き方改革を!

連合埼玉2018新春のつどい

1月10日(水)ときわ会館にて、多くの来賓をはじめ、構成組織・地域協議会代表者、推薦議員など330名の参加のもと、2018新春のつどいを開催した。

主催者代表挨拶で近藤嘉会長は、「これから『働き方改革』法案に関する審議が、本格化しようとしている。この法案には、罰則付き時間外労働の上限規制や、中小企業の割増賃金率の猶予措置の廃止など、私たちが従来求めてきた政策が実現されようとしている一方で、企画業務型裁量労働制の拡大や高度プロフェッショナル制度の導入など、長時間労働につながりかねない内容も含まれている。『働き方改革』が、『働かせ方改革』にならない様、注視していく必要がある。連合が求める政策などを様々な場面



主催者挨拶:近藤嘉会長

でキャンペーンをつうじて、広く世論に訴えかけることで、誰もが取り残されることなく、すべての働く人の暮らしの底上げ実現につながる様、全力で取り組みたい」と話した。また、先の衆議院議員選挙の結果も踏まえ、「安倍総理による究極の自己都合解散に始まり、野党第一党である民進党の分裂により、漁夫の利(ぎよふのり)を得た自公が大勝する結果となったことは、痛恨の極みである。今回の総選挙の結果を真摯に受け止め、第19回統一地方選挙、第25回参議院議員選挙に向け、ここにお集まりの皆さんと危機感を共有した上で、次なる取り組みに進んでいきたい」と訴えた。

来賓あいさつで、上田清司埼玉県知事からは、「県として、所得が伸びないことによる貧困の格差にしっかり取り組んでいきたい。連合埼玉としても、真の働き方改革につながるよう真正面からの運動展開をお願いしたい」とあいさつがあった。

参加いただいた来賓を代表し、小林直哉埼玉労福協理事長、清水勇人さいたま市長、荒木祥一埼玉労働局長、根岸茂文埼玉県経営者協会専務理事、大野元裕民進党埼玉県総支部連合会代表からも、挨拶をいただいた。

今春の新春のつどいにおいても、少しでも東日本大震災、ならびに熊本県を中心とした九州地震からの復興を後押ししたいという思いから、用意した料理や、抽選会景品の一部に東北3県、熊本・大分県の特産品を取り入れた。

来賓あいさつ



上田清司
埼玉県知事



小林直哉
埼玉労福協理事長



清水勇人
さいたま市長



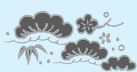
荒木祥一
埼玉労働局長



根岸茂文
埼玉県経営者協会専務理事



大野元裕
民進党埼玉県連代表・参議院議員



連合埼玉 2018 新春のつどい フォトギャラリー



新春を祝って鏡開き



新年をスタートした連合埼玉に乾杯!



福祉事業団体のみなさん



推薦・友好首長のみなさん



県内政党のみなさん



総会司会の
龍口隆二さん(青年委員会)
滝口千恵美さん(女性委員会)



お楽しみ抽選会
会長賞ゲット!



閉会の挨拶をする大谷副会長

ユニオニオン
がきく!

近藤 嘉会長ってどんな人?



昨年11月に連合埼玉会長に就任された近藤会長にいろいろインタビューしてみました。

Q1 組合役員になったきっかけは?

当時、職場の先輩だった小野寺義成さん(元・連合埼玉副会長)に職場休憩所に呼ばれ、執行委員をやらないかと言われたのがきっかけです。缶コーヒー1杯で即決でした。(断ることはできなかったでしょうが…)

Q2 連合埼玉の会長としての抱負は?

とにかく人とのコミュニケーションを大事にしていきたいです。役割上、現場(職場)との距離がどうしても遠くなりがちですが、現場が一番大切と考えていますので、各構成組織、職場に近い役員の方々と様々な場面を通じて情報共有をする機会を増やしていければと思っています。

Q3 趣味・特技は?

趣味は、スポーツ(全般)観戦で、特に野球(高校/社会人/プロ/海外)が好きです。私自身、小学校~高校まで野球をやり、就職してからは実業団/クラブチームでソフトボールに打ち込みました。全国大会に出たこともあります。また、どちらかというと妻の趣味である『フクロウ』グッズ(置物や絵画)の収集を手伝っていて、地方への出張など機会があれば買い集めています。自宅には数えきれないほど…。



自宅のふくろう群

Q4 好きな食べ物・嫌いな食べ物は?

好きな食べ物は魚介類全般、特に『貝』。それと『米』は大好きです。食べられない物は特にありませんが、カレー風味のものはあまり…。

山本副会長
にきく!

近藤 嘉会長ってどんな人?

執行委員となり、組合会議室のイスに溶接のスパッターから身を守るために作業着の襟を立てて座っている近藤会長と初めて会いました。その後の役員研修では、職場の働き方をめぐって大喧嘩をしましたが、それがキツカケとなり意気投合、朝方まで酒を酌み交わす仲になり、早いもので17年が過ぎました。職場の後輩にきくと「近藤さんは、怖い」イメージと言います。それは仕事に対する姿勢が、とても熱くて、どんな時も決してブレないということのあらわれだと思います。議論中には、時々熱くなり、怒っているように見えますが、数分後にはケロツとしていて、周囲が翻弄されます。これはAB型のためかもしれません。是非ご承知おきください。そのような面もある近藤会長ですが、懐に入れば、男気のある、周囲に人一倍気配りをする、純粋で真っ白な人だと、すぐに分かると思います。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、鮮やかな色に染めていきましょう。

Q5 幸せを感じるのはどのような時ですか?

兵庫県神戸市出身ということもあり、阪神・淡路大震災では身内や知人も多く被災しました。そのことをきっかけに家族が健康で何事もなく日常が過ごせていることに対して幸せを感じる様になり、有難味がより強くなりました。

Q6 休日の過ごし方は?

妻がパートで休日に出勤することも少なくありませんが、その時は家事を手伝っています。お風呂掃除もしますし、子供たちの朝・昼の食事作り、晩ご飯の献立を決めて買い物へ行き、準備/料理/片付け。男女平等社会の実現に向け、自らが意識・行動改革を積極的に進めていきたいと思えます!

Q7 大事にしているポリシーはありますか?

「気遣い・心遣い」です。組合役員になる前、まだ組合員だった頃から単組の社会貢献活動として、壊れたり古くなり使えなくなった車イスを引き取り、車づくりのノウハウを活かした改造・再生をするボランティアをしていました。単に再生するだけでなく、使用者に直接お会いすることで、どうすれば本人に合った使いやすい車イスになるのかを仲間と考えながら手探りで取り組んでいました。また多くの自然災害を目の当たりにし、組合としての対応を図ってきたことをつうじて、多くの人たちと出会い、繋がり、経験を重ねていく中で、相手の立場にたって考え、行動していくことの重要性を実感しました。いつまでも「気遣い・心遣い」のできる人でありたいと思えます。



会長とユニオニオン

副会長 山本 洋志(自動車総連埼玉地協)

ネットワークSAITAMA21運動

2018年ワンコイン運動 展開中！

「ネットワークSAITAMA21運動」(以下「ネット21運動」)は、埼玉県内のさまざまなNPO・市民団体と連携・連帯し、働くものと地域の市民が出会い、互いに理解しあって、共生の市民社会の創造をめざす運動です。これは連合埼玉の「改定版新中期運動ビジョン」が掲げる「職場・地域に信頼される組織づくり」の具体的推進の一環でもあります。

具体的には、生活と暮らしに関わる情報・知識の提供の観点から「出前講座」の実施、親子での自然体験事業の開催、地域で活動する様々なNPO等の団体への支援活動、東日本大震災による避難者や避難者支援団体への支援活動等をおこなっています。

このような「ネット21運動」の活動を支える貴重な資金となるのが「ふれあいコミュニティ・ファンド」で、このファンドへの寄付・募金活動のひとつが「ワンコイン運動」です。ご協力いただいた方にはその証として「ネット21運動」専用の「2018年度版ボランティア・カード」を発行します。

～ 2018年度ボランティア・カード受付中 ～

2018年4月1日から2019年3月31日まで使える「2018年度ボランティア・カード」の受付を開始しています。このボランティア・カードにはAタイプ、Bタイプの2種類があり、協力金(ワンコイン500円)の内、契約料やカード作成料などを差し引いた額が「ふれあいコミュニティ・ファンド」に自動的に寄付されます。Aタイプ、Bタイプの違いはカードの付属しているサービスの違いとコミュニティ・ファンドへの寄付額の違いです。Aタイプは、リソライフサポート(以下リソル)のサービスが付加されており、リソル契約料と諸経費(カード作成料、送料など)を差し引いた額(200円)がコミュニティ・ファンドへ寄付されます。一方、Bタイプはリソルサービスがなく、諸経費(カード作成料、送料など)のみを差し引いた額(400円)がコミュニティ・ファンドへ寄付されるカードとなっています。連合埼玉への購入申し込みは2月23日(金)が締め切りとなっておりますので、それまでに各構成組織で取りまとめていただき、所定の申込用紙にて申し込みをお願いします。

ネット21運動「2018年度版ボランティア・カード」付属サービス

① Aタイプのみ付属サービス

リソルが提供している全国の契約施設(ホテル・レジャー)、生活サービス、健康・医療、育児・教育、介護まで様々な生活関連のサービスが割引価格で利用できます。

② A・Bタイプ共通の付属サービス

「株式会社かんなん丸」が運営する「庄や」「日本海庄や」などの店舗や、「隠れ菴忍家」などを運営する「ホリイフードサービス」の各店舗(一部の店舗を除く)、「魚民」「山内農場」などを運営する「モンテローザグループ」の一部店舗においても各種割引サービスを利用できます。これら以外にも埼玉県内にある提携している居酒屋、中華料理屋、焼肉屋などで割引が受けられます。その他、観光やレジャー、趣味、スポーツ、暮らしの応援として、多数の企業と提携しており、サービスも様々です。詳しくはホームページでご確認ください。

【ネットワークSAITAMA21運動ホームページ】

<https://www.net-saitama21.jp>

もうすぐ選挙

川口市長選挙

▶奥ノ木 信夫(おくのき のぶお) 66才(無・現1・連合埼玉推薦初)
告示日:2018年1月28日(日) 投票日:2018年2月4日(日)

現在予定される2月の日程表です

2月		連合埼玉・事務局	行事等
1日	木		地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体 本庄・児玉郡市地域協議会「第16回地協総会」(18:00～・埼玉グランドホテル本庄)
2日	金	第1回地協議長・事務局長会議(14:00～・あけぼのビル)	
3日	土	組合役員教育プログラム基礎③④(10:00～・ときわ会館)	
4日	日	春闘/パワーアップセミナー(10:00～・あけぼのビル)	川口市長選挙投票日
5日	月		
6日	火	①第3回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②2018「春闘開始宣言」(18:00～・大宮駅東口)	北埼玉地域協議会「第1回幹事会」(18:30～・羽生市民プラザ地下)
7日	水		①平成30年度北方領土返還要求全国大会(10:00～・国立劇場) ②中央労働金庫埼玉本部県全体集会(13:00～・ラフさいたま)
8日	木	全国一斉集中労働相談ホットライン(～10日・10:00～19:00)	
9日	金		平成30年度北方領土返還要求埼玉県民大会(埼玉会館)
10日	土		
11日	日		
12日	月		
13日	火		
14日	水	①組合役員教育プログラム基礎⑥⑦(10:00～・あけぼのビル) ②第3回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	退職者連合「全国事務局長会議」(13:00～・連合本部3階AB会議室)
15日	木		①連合関東ブロック「地方連合会代表者会議」(14:00～17:00・ホテルラングウッド) ②退職者連合「2.15院内集会」(10:00～・参議院会館1階大会議室) 埼玉県公労使会議(9:30～・県庁庁議室)
16日	金		
17日	土	組合役員教育プログラム基礎⑦⑧(10:00～・あけぼのビル)	
18日	日		
19日	月	①春闘街宣行動(東部) ②女性委員会「第3回幹事会」(18:30～・連合埼玉会議室)	
20日	火	春闘街宣行動(西部)	
21日	水	春闘街宣行動(北西部)	さいたま地域協議会「第1回幹事会」(18:30～・ネット21大宮)
22日	木	春闘街宣行動(南部)	
23日	金	春闘街宣行動(北東部)	
24日	土		
25日	日		
26日	月		
27日	火		
28日	水		

ZENROSAI NEWS
1117V019

2018年 4月より

埼玉県では、自転車損害賠償への

加入が**義務**となります!!



埼玉県マスコット「コバトン」

■ 神戸地裁
平成25年7月 **9,521万円**

小学5年の男児が散歩中の女性と衝突。
被害者は意識不明となった。

■ さいたま地裁
平成14年2月 **3,138万円**

男子高校生が歩道から交差点へ進入した際に、
女性の自転車と衝突。被害者は死亡。



全労済の各種共済・特約で賠償責任 **最高1億円**まで保障!

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・終身定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・障害年金共済・個人事業主生命共済

傷害安心タイプ

新火災共済

風水害等給付金付火災共済

[個人賠償責任共済]

マイカー共済

自動車総合補償共済

[自転車賠償責任補償特約]

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

埼玉推進本部

(埼玉県労働者共済生活協同組合)

全労済は、営利を目的としない保障の定款として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資者をお支払いいただいております。各共済をご利用いただけます。

☞示談交渉サービス付き! ※一定の条件を満たす場合に利用できます。

☞ご家族どなたかお一人のご加入で同居家族全員*の賠償責任の備えができます ※同一生計の親族

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長

佐藤 道明

◆来年のふたつの選挙

昨年10月の衆議院選挙で民進党は、民進党・希望の党・立憲民主党の三つに分裂した。立憲民主党が県内組織の立ち上げを進めている一方で、民進党は国会における希望の党との統一会派結成の合意を白紙に戻すなど混乱が続いている。

このような中で、来年4月の統一地方選挙をにらみ、民進党地方議員の離党が相次いでいる。連合埼玉として、民進党を離党し立憲民主党に移っていく推薦議員に対して、そのことを理由に推薦を取り消すことはないが、来年の統一地方選挙を連合埼玉としてどのように戦うのか、頭の痛いところである。

来年のこととは言え、統一地方選挙その後続く参議院選挙への対応は、遠くない時期にスタートさせなければならない。混乱している政治情勢において、二つの選挙における連合埼玉の果たすべき役割と責任は大きなものがあり、心して取り組まなければならない。

◆連合候補を擁立した第13回統一地方選挙

連合埼玉は、1994年6月17日に開催した第7回地方委員会において、翌1995年4月に執行される第13回統一地方選挙県議会議員選挙において「連合候補」を擁立し、連合埼玉の総力を結集してその必勝をめざすことを確認した。

当時の政治情勢は、38年間の長期にわたった自民党一党支配の政治に代わる細川内閣が1993年8月9日に誕生し、1994年4月28日には羽田内閣が誕生した。しかし、同年6月30日には、自由民主党、日本社会党、新党さきがけの連立による村山内閣へと変わっていったように、日本政治の歴史的な変革期にあった。

連合埼玉は第13回統一地方選挙を次のように位置づけ、その意義を確認している。

国政レベルでの政治構造や政治改革の推進は、当然に「地方政治の改革」の課題でもあり、多くの自治体で一斉に施行される首長選挙と県議会・市町村議会議員選挙は、①地方分権・自治の確立と推進②地方税財政の改革③首長・地方議会制度改革等を、勤労国民全体で促進していく重要な機会である。連合埼玉には、このような統一地方選挙の意義を積極的に受けとめ、県内における勤労県民を代表する労働団体として、より主体的にその任務と役割を果たしていくことが求められている。

連合埼玉結成後、二度目となる第13回統一地方選挙は、4年前に比べて組織内外の諸情勢が大きく変化していることだけでなく、われわれ連合運動の主体的・

客観的条件も同様に変化していることを認識する必要がある。その第一は、継承団体であった「埼玉県労評センター」「同盟埼玉友愛会議」「埼玉中立労組連絡会」が、4年間の経過をへて発展的に解散し、選挙協力をはじめとした政治諸活動は、文字通り連合埼玉自らが、その任務と役割、そして責任を果たす立場にあること。第二は、このため全構成組織及び22地域協議会が一体となって連合の「政治方針」にもとづく政治的諸活動を、この埼玉で推進していく組織的体制の確立が急務の課題になっている。

このような意味から、第13回統一地方選挙は、単に推薦候補者への支援という選挙協力に止まらず、組織全体の合意形成を基本に、具体的な行動を伴った連合埼玉の選挙方針を明らかにして対応すべき、重要な選挙として位置付ける必要がある。

「連合候補」擁立の基本的な目的は、連合のめざす新しい政治勢力の結集を地方においても推進していくとともに、連合が提言する「日本の針路」と連合埼玉の「政策・制度改善要求」を、より県政に反映させ、勤労県民の「ゆとり・豊かさ・公正な社会の実現」をめざしていくことにある。

◆確認団体としての「連合埼玉の会」

「連合候補」とは、連合埼玉が推薦し、全構成組織の合意のもとに、連合埼玉が責任をもって選挙活動を推進する「無所属の候補者」と定義している。

具体的な行動として現在と最も違う取り組みは、政治団体である「連合埼玉の会」を確認団体とし、「連合埼玉の会」が候補者を推薦候補ではなく公認候補として扱い選挙を戦ったことである。

確認団体とは、選挙の選挙告示日から投票日までの選挙運動期間中に一定の条件の下で政治活動を許されている政治団体のこと。許されている活動は、演説会、街頭演説、政治活動用の自動車と拡声器の使用、ポスター、立札、看板の掲示、選挙に関する記事を掲載した機関誌やビラなどの頒布である。

結果、連合候補7名を擁立し6名が当選、連合推薦候補（組織内・組織外・公明）は12名を推薦し10名が当選、市町村議員は43名推薦し38名が当選した。当選した連合候補6名は県議会において会派「連合歩みの会」を結成した。

1999年4月の第14回統一地方選挙埼玉県議会議員選挙において現職7名（途中2名入団、1名が離団）は連合候補として全員が再選。会派名を「歩みの会・民主議員団」と改めた。更に2名が会派に加わり9議席となった。

議席数で、自民党・公明党・共産党に次ぐ第4会派となり、交渉会派の地位を維持し、土屋知事の与党会派として活動するとともに、連合埼玉の政策制度実現に大きな力を発揮した。

2018.1.24